

地域計画（モデル地区）の取組状況（令和6年7月末時点）

意向調査から9回の会合を重ね、農家全員から同意を得て目標地図を作成				千葉県富里市 高松入地区	
農家数 (認定農業者数)	25経営体 (12経営体)	農地面積 (うち農振農用地)	62.1ha (62.1ha)	主な農畜産物	スイカ・根菜
農業地域類型	都市的地域	遊休農地	0ha	現状の集積率 (目標)	52.9% (60%)
地域の現状と課題			将来の地域農業の方向性		
・比較的担い手数が多いものの、50代～60代の経営体为中心となって耕作を行っており、10年後を見据えるなかで、後継者不足が課題である。 ・スイカや根菜類が主要作物であり、連作障害も課題となっていることから、輪作体系の構築も必要となっている。 ・畑作地帯であり、ほ場毎に作物が違いため、集約化が難しい。 農家の平均年齢 58歳(R4) 後継者不在農地 45.6ha			・中心経営体の耕作実態により、地区を3エリアに分け、エリアごとに集積・集約化を図る中心経営体について集落内の合意形成が図られた。 ・地区の中心経営体は、野菜の家族経営であり、当面はこれら経営体の規模拡大を基本に農業生産力の維持・強化を図っていくため、策定後も、貸出意向のあるほ場等を個々に中心経営体に結び付ける調整を行う。 また、地区外からの「入耕作」者の位置付けも検討する。		
協議を進める過程で発生した課題			取組経緯(課題への対応)及び今後の予定		
・目標地図は、農地一筆ごとに特定の担い手に結び付ける必要があるが、畑作地帯では、担い手以外の農業者が現に耕作している農地も多く、今の段階で、これらの農地を集積する合意をとることに対して、担い手側も踏み込めない状況である。 ・集約化については、総論は賛成されるが、各論としては担い手が長年土づくりに努力してきたほ場を手放すことにもつながることから、取組は困難である。今後も継続して検討を重ねる必要がある。			令和4年2月～10月：意向調査から5カ月間で9回の会合を実施。 会合には常に市職員、農業委員会事務局、農協職員同席。 令和5年2月：実質化された人・農地プランを策定するとともに、地区に「高松入地区人・農地プラン推進委員会」を設立。地区の状況の把握と見直しを図る体制を確立した 令和5年2月：地区の農家全員から同意を得て、目標地図の案を公表 令和6年2月：協議の場を設置し、地域の最終的な意向を確認 令和6年5月に地域計画を策定		

